

登録コード	SA702200	開講年度	2026				
授業題目	アドバンス演習・実験・実習Ⅰ					担当教員	境圭一
英文授業名	Advanced Seminar in MathematicsⅠ					副担当	
単位数	1	講義期間	前期(集中)	曜日・時限	集中・不定期	対象学年	2年
講義室			授業形態	演習	遠隔授業科目		備考
信大コンピテンシー	該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				⇔	【授業の達成目標】	
(2)授業で学べる「テーマ」	その他						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	数理科学の中から選ばれたテーマを参加者自らが学習し、セミナー形式でその学習内容を発表する。質疑応答、討論や意見交換を重視し、数理科学における学習方法を身につけると共に、コミュニケーション力も磨く。学習テーマとしては代数系、幾何学系、解析系、数理物理学系の4系から選ばれる。						
(5)授業のキーワード	能動的学習、数理科学、ゼミナール						
(6)授業計画	1) ガイダンス(担当教員の紹介および学習テーマの決定) 2) 各学習テーマに沿ったセミナー発表 1 3) 各学習テーマに沿ったセミナー発表 2 4) 各学習テーマに沿ったセミナー発表 3 5) 各学習テーマに沿ったセミナー発表 4 6) 各学習テーマに沿ったセミナー発表 5 7) 各学習テーマに沿ったセミナー発表 6 8) 各学習テーマに沿ったセミナー発表 7 9) 各学習テーマに沿ったセミナー発表 8 10) 各学習テーマに沿ったセミナー発表 9 11) 各学習テーマに沿ったセミナー発表 10 12) 各学習テーマに沿ったセミナー発表 11 13) 各学習テーマに沿ったセミナー発表 12 14) 各学習テーマに沿ったセミナー発表 13 15) まとめ・授業アンケートの回答						
(7)成績評価の方法	レポート、出席状況およびセミナーでの発表内容により総合して成績を評価する。						
(8)成績評価の基準	例題と同様の課題に対してその解決の道筋を理解し、解決の過程をかなりの程度遂行できれば水準にある。 例題と同様の課題を独力で解決できればやや上にある。 例題よりやや複雑な課題を独力で解決できればかなり上にある。 例題より複雑な課題を独力で解決でき、論理的に整理した答案を書くことができれば卓越している。						
(9)事前事後学習の内容	事前学習：自身が発表するか否かに関わらず、内容を理解するように努めてください。自身が発表する回に向けては、発表内容・構成をあらかじめノートにまとめ、そのノートをもとに（教科書などを見ずに）発表できるよう準備してください。 事後学習：セミナー中に議論した内容が定着するよう努めてください。場合によっては他の受講者との議論も大切です。						
(10)履修上の注意	自ら未知の数学を理解するという意欲のもと、積極的に学習を進めてください。						
(11)質問,相談への対応	随時対応します。						
【教科書】	担当教員に問い合わせてください。						
【参考書】	担当教員に問い合わせてください。						